

—医師、歯科医師、薬剤師の皆さんへ—

ざ瘡治療の今後の展望

—たかが、ニキビ。されど、ニキビ。

日時 8月25日(土) 午後5時～

会場 兵庫県保険医協会 会議室(神戸フコク生命海岸通ビル5階)

(JR・阪神元町駅南へ徒歩7分、兵庫県農業会館西向)

講師 明和病院 皮膚科部長・にきびセンター長 黒川 一郎 先生

参加費 無 料

2017年に日本皮膚科学会尋常性ざ瘡治療ガイドラインが改訂されました。

過酸化ベンゾイル製剤の上市によって日本におけるざ瘡治療はようやく世界標準に近づいてきました。尋常性ざ瘡は皮脂分泌の亢進、男性ホルモンなどの内分泌的因子、毛包漏斗部の角化異常、ざ瘡桿菌の増殖と炎症の4つの因子が発症に重要と考えられています。しかしながら、尋常性ざ瘡の合併症としての炎症後色素沈着、瘢痕、囊肿・硬結に対する治療はまだまだ途上にあります。当科では2011年ににきびセンターを開設し、ケミカルピーリング、イオン導入による自費診療による治療を積極的に行い、顕著な効果を示しています。

今後、創傷治癒の側面からざ瘡治療へアプローチすることが重要と考えております。

【黒川 記】

兵庫県保険医協会 神戸市中央区海岸通 1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル 5階 TEL/078-393-1840

お申し込みFAX 078-393-1820

参加申込書 第543回診療内容向上研究会(8/25)

市区郡名

病・医院・薬局名

Tel

氏名：	医師 ・ 歯科医師 ・ 薬剤師 ・ 看護師 ・ その他 ()
氏名：	医師 ・ 歯科医師 ・ 薬剤師 ・ 看護師 ・ その他 ()
氏名：	医師 ・ 歯科医師 ・ 薬剤師 ・ 看護師 ・ その他 ()

【会場地図】

